

散歩の途中で

調布には多摩川・野川・深大寺、その他たくさんの散歩に最適な場所があります。秋風の心地良いこの時期、可愛い野の花に足を止める方も多いと思いますが、そんな野草の紹介です。あなたも見つけてみませんか。



9/26 シャクチリソバ 野川
タデ科ソバ属。遠目でみると真っ白な花だがよく見るとオシベの先が赤くて美しい。ソバのような食べ方はできないようだがルチンを含む生薬とのこと。



10/4 ミゾソバ 野川
こちらはタデ科タデ属でソバとはかなり違うが、花弁のようなガクの先がピンクで、これもすばらしく可愛い花。



10/3 カントウヨメナ 佐須の畔
「里の秋」にピッタリの可憐な野草。田んぼの畔に咲いていたが、今年は放置された畑の帰化植物に埋もれて負けそう。



9/26 ゲンノショウコ 深大寺自然広場
野草園近くの高速の下で見かける色鮮やかな濃いピンクの花。ゲンノショウコに似ているけど何だろう？と思っていたが、れっきとしたゲンノショウコ。西日本はアカバナが基本らしい。



9/9 カラスノゴマ 電通大構内
カラスが食べるゴマに例えた名だとか、ゴマよりやや大きい種になるので「カラス」という接頭語を付けたとか…。筆者は南高尾で覚えた花。8月下旬、調布の道端で見つけ「えっ！」と思ったら大学の構内片隅にまとまって咲いていた。市街地では比較的めずらしいのではないだろうか。



10/3 コセンダングサ 野川
土手に降りてみるとキチョウ、モンシロチョウ、シジミチョウ、そしてこのツマグロヒョウモンと、沢山のチョウが舞っていた。コセンダンは殆ど筒状花しかないのあまり目立たないがチョウ達は大のお気に入りらしい。



9/21 マルバアサガオ？ 佐須の田んぼ
葉の形からマルバアサガオという帰化植物と思って見ていたがノアサガオという良く似た園芸品もあるようだ。涼しくなってもよく咲いている。



9/26 左 ミズヒキ 右 キンミズヒキ
都市森の丘(深大寺五差路横)
タデ科のミズヒキは、ご存知の通り水引に例えた名前。上から見ると真っ赤だが下から覗くと白。キンミズヒキはバラ科の花で実はトゲがあり、小さなヒツキムシになる。

この自然だよりはホームページ「ちょうふ環境市民会議」
<http://chofu-kankyo-shimin.org/> でカラー版が御覧になれます。モノクロ印刷では味わえないビックリするくらいすてきな野草を見ることができますよ。

多摩川今昔

地元生まれの戸部英貞先生に、ちょっと昔の調布のようすを連載していただいています。

野川・仙川

市内を流れる多摩川支流の中で、多摩川本流とは異なる生態系を持っていたのが野川や仙川だった。現在では崖線下の湧水が減少し、水量が激減、夏の湧水期には干上がり、あちこちで魚の干物が出来ている年もある一方、強い雨が降ると増水によって氾濫の危険が生じている。

このような現象は半世紀前の野川や仙川にはなかった。川幅が狭く、源流地点も近い野川や仙川の川面に降る雨の量は知れたもので、年間を通して水量に大きな変化が少なく、両岸から覆い被さるように生えた草が魚や昆虫、小鳥、たちの隠れ場を作り、それを求める動物も現れた。当時の野川は水量があった、子供の泳ぐ姿があっても、今の

ような大きなコイが泳いでいることはなく、小鮒釣りぐらいで、夏の野川は子供たちで賑わい、夜にはヘイケホタルが飛んでいた。

冬には両岸の枯れ草が小鳥たちの餌場や寝ぐらで、特に夕暮れ時は、寝ぐらを求めた小鳥たちの鳴き声(地鳴き)で賑やかになる。ホオジロ、カシラダカ、ホホアカ、アオジ、ミソサザエ、ウグイス、スズメ、など数えれば、きりが無い種類の小鳥が集まり、それを求めてか、夜になるとオオコノハズクや時にはフクロウの声を聞くこともあった。(戸部)



秋の野川清掃



10月4(日) 秋晴れのなか、環境市民会議として初めての野川清掃を実施しました。この日のために準備したのぼり旗を目印に21人が参集。

小金橋から下流に向かってサイクリングロードのごみを拾いながら下流方向へ移動を開始しました。植え込みに隠れた空き缶やペットボトル、タバコの吸殻等を調布市のごみ袋へ。谷戸橋の少し下流で右岸チームと左岸チームに分かれて親水階段から野川(高水敷)に降り、上流の小金橋に戻りながらまた清掃。

湧水でできた野川は多様な生物の棲みかとなっている美しい川です。清掃の途中でもミゾソバやガマノホなどの水辺の野草やコナギ・カモ・ゴイサギなどの水鳥を観察することができました。



▲おつかれさまでした。本日の成果<可燃6袋、不燃7袋、ペットボトル約30本、カン50本、ビン10本> 粗大ゴミ1(自転車)

継続は力なり。次回は12月または1月を予定しています。市報等でお知らせします。ぜひご参加ください。(レポート・写真 江刺)

野川で遊ぶまちづくりの会

田んぼの植物

(田んぼの学校から)

～コナギ～

秋も深まり、私たちが体験させて頂いている田んぼも、もうじき稲刈りです。おかげさまで今年もたわわに実り、重そうに穂を垂らしています。不思議なのは、私たちの田んぼがスズメに大人気ということです。9月前から群れでやってきて、楽しそうにパーティを開いていました。夏の間、虫を捕ってくれたお礼にと

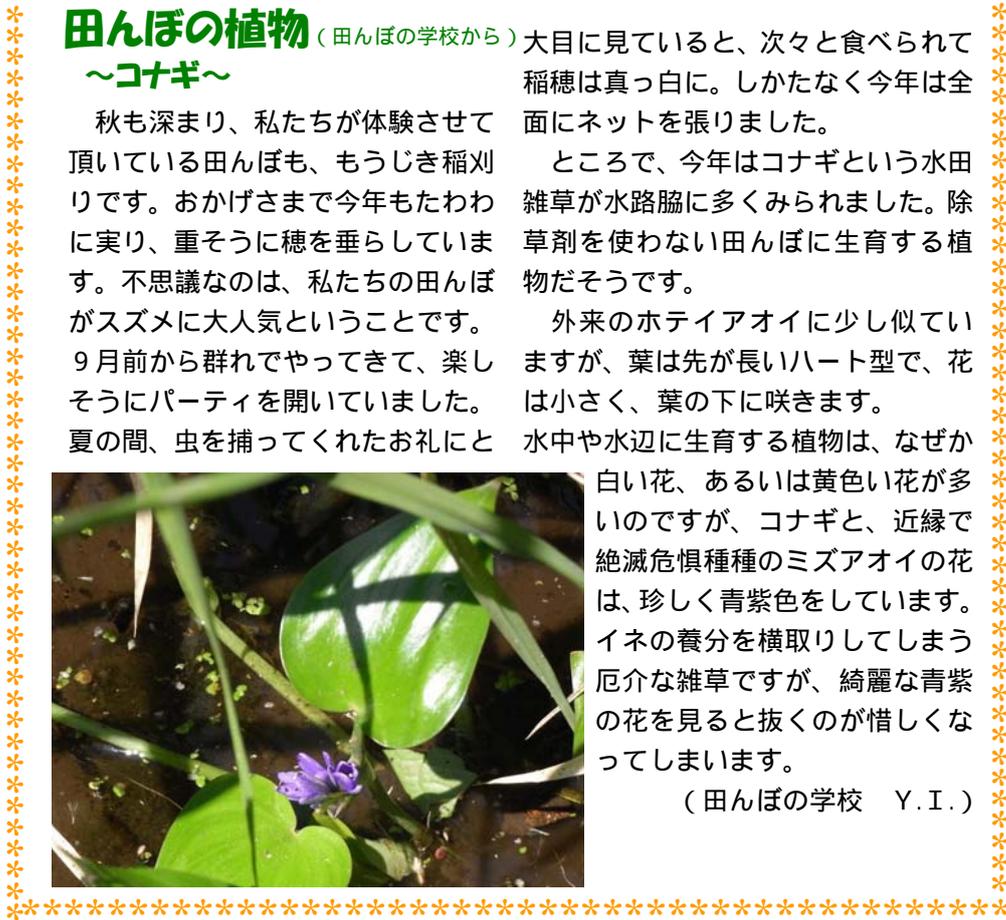
大目に見ていると、次々と食べられて稲穂は真っ白に。しかたなく今年は全面にネットを張りました。

ところで、今年はコナギという水田雑草が水路脇に多くみられました。除草剤を使わない田んぼに生育する植物だそうです。

外来のホテイアオイに少し似ていますが、葉は先が長いハート型で、花は小さく、葉の下に咲きます。

水中や水辺に生育する植物は、なぜか白い花、あるいは黄色い花が多いのですが、コナギと、近縁で絶滅危惧種種のミスアオイの花は、珍しく青紫色をしています。イネの養分を横取りしてしまう厄介な雑草ですが、綺麗な青紫の花を見ると抜くのが惜しくなってしまいます。

(田んぼの学校 Y.I.)



活動記録コーナー

◆入間・樹林の会

8月16日(日) 方形枠調査のあと、目についたブルーシートを撤去しました。雨水がたまりボウフラや虫の卵があり一人ではなかなかできない作業です。曇天の樹林地内は薄暗く、まだまだ明るい森には程遠い状況。特にツバキの森は業者が伐採したのか間隔は空いてきていますが手付かずの状態です。樹林地内のシダ類(ヒメワラビ・イヌワラビ・イノデ・ベニシダ・ヤブソテツ)の見分け方を教わりました。春に植えたキツネノカミソリが少し咲き、駐車場側のクサギの花がよい香りを漂わせていました。

9月27日(日) 曇天の中、民家近くの三角地の雑草刈りを5人でしました。5月にも刈ったのに人の背丈までのびており、刈り取り忘れていたアズマネザサは硬くしっかり育っていて刈り取りは大変でした。セイタカアワダチソウ・クサギ・クワのほか、ヨウシュヤマゴボウの実が熟していました。昼過ぎまでかかりましたが、一仕事終えた汗が気持ちよかったです。また、草むらからは今まで以上に、カマキリ、コオロギ、カタツムリ、ニワハンミョウ、チョウ類、カナヘビなど多くの昆虫や生物に出会いました。(安部)



オオカマキリでしょうか。来春5月か6月頃たくさんの子供たちが這い出してくるはずですよ。

◆若葉の森の会

9月13日(日) 講師に小池先生を招いて、この緑地の目指すもの、また保全の方法などを現地を見ながらアドバイスを受けました。

温暖化で霜が下りず、シュロ、ヒサカキが多くなる。落ち葉が、水の浸透を妨げる。など勉強になりました。

9月24日(木) シロダモの小木、ツルの伐採をしました。

花壇には、コスモス、とろろ葵、千日紅などがたくさん咲いていて、きれいです。(住田)

◆カニ山の会

8/8(土) 曇り 参加者7名

以前に伐採した木を使い通路の補修をした。杭打ちなどの作業は安全の確保の仕方を小島さんに教わりながら行うのだが、力仕事は皆やりがいがある。その他、かなりの大木(コナラ)が倒れていたため、玉切りをして、とりあえずその場に置いておいた。ツタが巻きついていたせいで弱っていたのだろうか。まだ倒れたばかりのようでその生々しさに一同驚く。

9/12(土) 雨 参加者7名

雨にもかかわらず集まったメンバーと前回の倒木を考えながら、樹林内の視察。南側人家近くにも枯れた大木が見られた。処分の仕方を今後検討する。



大雨の時、人家へ流れる水を防ぐため、土嚢が積まれていた。(白く見えるのが階段上の土嚢)

◆環境モニター

9月5日(土) 晴れ



久しぶりに小澤先生をお呼びして多摩川ワンド周辺の植物観察を行いました。まだまだ陽射しは強く、センニンソウの花も盛り。クレマチスの仲間だけあって、沢山咲いている様子はとても美しい。



アカマンマの仲間、ヤナギタデも盛り。真っ白な花もあり小さな花の一つ一つが開いて、よく見ると可愛らしい4枚の花びら(実はガクですが)が分ります。

その他イネ科も穂が出そろい、スズメノヒエ・シマスズメノヒエ・アキメヒシバ・メヒシバ・セイバンモロコシ・コスズメガヤ・カゼクサ・オオクサキビ・シナダレスズメガヤ・ジュズダマ・イヌビエ・ツルヨシ、ワンドの縁のマコモも健在。イネ科は何度教わってもわからなくなってしまいますが、年々顔なじみが増えるような楽しさがあります。先生からも「身近な調布の植物をよく観察して、ときどきは違う場所と比較すると植物の違いがわかりやすい。」という助言をいただきました。

今月(10月)はリバーミュージアム研究会と共に多摩川河原のアレチウリ調査をする予定です。

☆ 環境市民 エコ活動カレンダー & おしらせ ☆

湧水の流れる野川のご機嫌うかがい

10月24日(土)



秋の水生生物調査 参加者募集!

川にすむ生き物の種類で川の水質を判定します。

- ◆ 集合 9:30 野川御塔坂橋下流(いこいの水辺)
調査地点1(御塔坂橋下流)~調査地点2(細田橋下)
- ◆ 費用 保険料込1人1000円
- ◆ 持ち物 水に入るためのズック靴(サンダルは不可)・足ふきタオル・飲み物
- ◆ 講師 宮治隆弘さん(自然保護協会自然観察指導員)
申込先:身近な川を見守る会(池辺)
TEL:042-487-3087 FAX:042-486-0625

2010 アースデイ in 調布 参加団体募集します

2010.5.8 開催決定!

テーマ 「江戸から学ぶ粋(エコ)な暮らし」

粋な暮らしはエコな暮らし。先人の知恵に学びたい。

次回実行委員会 11月26日までにお申込みください。

詳しくはホームページ「アースデイ in 調布」を御覧ください。

私のおすすめ本

百田尚樹 著 講談社刊

風の中のマリア

主人公はあのおそろしいスズメバチ。でもスズメバチの人生(?)にだってそれなりの苦労が...。マリアはハタラキバチとしての宿命を懸命に生き抜く。普通の生物は自分の遺伝子(子孫)を残すため、生殖のために生きるのだが(人間も?)、マリアは何のために生きていくのか。

私は単に生態の面白さに惹かれて読んだが、「感動で涙が止まらなかった」と言う知り合いも...。あの養老先生のおすすめ本でもある。読後はちょっぴりスズメバチに親近感をおぼえたけれど、それでも恐ろしいハチには違いない。スズメバチに遭遇したら手で振り払ったり騒いだりせず、そっとその場を立ち去ろう。(N.K)



Schedule Schedule 全ての会でメンバー随時募集中! Schedule Schedule

カニ山の会

原則毎月第2土曜に深大寺自然広場東樹林の保全活動を行っています。参加希望の方は集合場所(野草園横)へ直接おいで下さい。

年会費500円+保険料

10/10(土)10:00~12:00

/樹林の保全活動

11/14(土)10:00~12:00

/樹林の保全活動

問合せ 環境政策課 042-481-7086

人間・樹林の会

原則毎月第3日曜に活動しています。参加希望の方は直接人間地域福祉センターへおいで下さい。(11月は問合せ)

10/11(日)9:30~12:00

/植物調べ

11/15(日)9:30~12:00

/樹林の保全活動

問合せ 環境政策課 042-481-7086

または緑と公園課 042-481-7083

若葉の森の会

原則毎月第2日曜に若葉町第3緑地で保全活動を行っています。参加希望の方

は若葉町3丁目第3緑地へ直接おいで下さい。

10/11(日)9:30~12:00

/樹林の保全活動

詳細は緑と公園課 481-7083へ

※各樹林地の保全活動は、調布市との協働でおこなっています。詳細については、記載の担当課にお問合せ下さい。

環境モニター

10/10(土)9:30~12:00

/多摩川アレチウリ調査

11/7(土)9:30~12:00

/深大寺自然広場・佐須の植物観察

問合せ:環境政策課 042-481-7086

野川とハケの森の会

10/18(土)10:00 カワセミ館集合

/野川&砧公園散策

11/14(土)10:00 カワセミ館集合

/野川バードウォッチング

問合せ:070-5566-3437(大山)

<http://www.ne.jp/asahi/nogawa/hake/>

入会方法: HPのメールから、または

イベント等随時(入会金2000円)

会員外参加者は参加費200円

環境市民活動団体交流イベント

実行委員会

10/13(火)19:00~21:00

たづくり601・602会議室

1. 学習会 調布市市環境施策と市民活動の関係ほか(環境政策課長)
2. 交流イベントのテーマ「地球環境と私の行動」の具体的内容の検討・団体の情報交換

問合せ 環境政策課 042-481-7086

【編集後記】

野草や昆虫の名前、覚えれば覚えるほど親しくなれる気がする。同じ物に見えていたときはただの雑草なのに、違いがわかると生涯の友達。(鍛治)

10/4の野川清掃には世田谷の仲間も駆けつけてくれた。なんと私たち調布の第1回に呼応して小金井の市民団体も同日清掃を企画してくれたそう。野川の上流から下流までの市民ネットワークのすごさに感嘆!まさに「つながり・交流は力なり」です。(江刺)

市民発 ちょうふの自然だより

この「自然だより」は2009.3.15に設立された「ちょうふ環境市民会議・広報部会」が隔月で編集発行、身近な自然情報を発信しています。自然に関する情報や写真など、いつでも<http://chofu-kankyo-shimin.org/>までお寄せ下さい。あなたの“ちょこっとエコ応援”まっています。

発行: ちょうふ環境市民会議

現在、調布市環境政策課、市内各図書館、地域福祉センター、郷土博物館、曼珠園さん、みさと屋さん、...などに置いてあります。

次号は12月の初めに発行予定です。